

事業一覧表
「真珠層」自然の恵みの持続可能な利活用

取り組みの基本方針	取り組み内容	H24・25 年度評価	平成26年度事業実績	平成27年度事業実績	平成28年度事業名	平成28年度事業内容	実施主体	
2・自然の恵みの持続可能な利活用 2 1 稼げる里海のまちづくり (1) 資源管理型漁業の推進	漁場環境の保全	😊		詳細はないが事業は実施	水産資源調査事業	藻場再生を進めることを目的に、平成26年度に御座地区に設置したウニフェンス(ガンガゼの食害防止対策施設)について、継続してその効果実証試験とモニタリングを行います。また、平成27年に実施したアラメ藻場の再生試験(スボアバッグ方式)についても継続して追跡調査を実施します。	水産課	
			【英虞湾・的矢湾汚染対策調査事業】 養殖漁場としての英虞湾・的矢湾の環境について現状と経年的な変動を把握し、問題の抽出とその解決に向けた計画策定を行うための資料とするため、水質、底質、底生生物等の環境調査を実施した。	【英虞湾・的矢湾汚染対策調査事業】 水産課 英虞湾・的矢湾の環境について現状と経年的な変動を把握し、問題の抽出とその解決に向けた計画策定を行うための資料とするため、水質、底質、底生生物等の環境調査を実施した。	英虞湾・的矢湾汚染対策調査業務	英虞湾・的矢湾の環境について、現状と経年的な変動を把握するため、水質、底質、底生生物等の環境調査を実施します。	水産課 三重県水産研究所	
			【伊雑ノ浦環境改善技術効果把握事業】 的矢湾奥部の伊雑ノ浦は水深が浅く、海底にはシルト粘土質の泥が堆積しているため、海水に濁りが発生しやすく、志摩市の基幹産業であるアオサ養殖に悪影響を与えています。 これに対応すべく、伊雑ノ浦における浮遊懸濁物の起源の解明、および現在の環境下で可能な新たな漁場利用について検討しています。	【伊雑ノ浦環境改善技術効果把握事業】 的矢湾奥部の伊雑ノ浦は水深が浅く、海底にはシルト粘土質の泥が堆積しているため、海水に濁りが発生しやすく、志摩市の基幹産業であるアオサ養殖に悪影響を与えています。 これに対応すべく、伊雑ノ浦における浮遊懸濁物の起源の解明、および現在の環境下で可能な新たな漁場利用について検討しています。	伊雑ノ浦環境改善技術効果把握事業	伊雑ノ浦でアオサ(ヒトエグサ)養殖に悪影響を及ぼしている泥の再懸濁を軽減する方法を検討します。また、現在の濁りのある環境下でも可能な新たな漁場利用方法(新たな養殖など)を検討・提案します。	三重県水産研究所 水産課	
	持続的な漁業の推進に向けた仕組みづくり	😊				水産資源調査事業	波切地区において、大型アワビ種苗の育成とその放流効果について、調査試験を行います。 英虞湾・的矢湾におけるアサリ資源の生息調査と近隣海域での生残試験を実施します。	水産課
						大型アワビ種苗育成・放流調査	アワビ種苗の放流直後の食害を低減することを目的に、海女等による大型アワビ種苗の効率良い育成手法を検討するとともに、放流効果の有効性を確認します。 ・小割生簀を用いた育成試験(5~12月) ・餌として乾燥海藻(乾燥アラメ)の有効性を評価(5~12月) ・育成した大型アワビ種苗を放流し、放流後の状況を観察することで、食害等初期の減耗に関する知見を収集	三重県水産研究所 水産課
			【種苗放流事業】 資源の増大による漁業経営の安定を目的として種苗放流事業を行った。	【種苗放流事業】 資源の増大による漁業経営の安定を目的として種苗放流事業を行った。 (ナマコ・アワビ・サザエ・カサゴ・トラフグ・ヒラメ)	種苗放流事業	資源増大を目的に種苗の放流を行います。 ナマコ・アワビ・サザエ・カサゴ・トラフグ・ヒラメ	三重外湾漁業協同組合 水産課	
				【アワビ種苗放流事業】実施主体：水産課 放流用のアワビ種苗を(公財)水産振興事業団から購入し、志摩市管内の放流実績のある地区に無償配布を行った。	種苗放流事業			
			詳細はないが事業は実施	詳細はないが事業は実施	種苗放流事業補助金	マダイ、クルマエビ等の資源増大を目指し、安定した漁獲量の確保と資源管理意識の向上を図ることを目的に、三重外湾漁協及び鳥羽磯部漁協等が行う種苗放流事業に対して補助を行います。 また、アワビについては重点魚種と位置付け、補助分とは別に放流用のアワビ種苗を放流実績のある地区に無償配布を行うことにより、漁獲量の向上支援を行います。 アワビ : 約 462,000個 トラフグ : 約 102,000尾 マダイ : 約 600,000尾 クルマエビ: 約1,000,000尾 ナマコ : 約 9,000匹	水産課	
			詳細はないが事業は実施	詳細はないが事業は実施	増殖センター管理運営費	アワビ種苗の育成を行うため、大王種苗センターの維持管理を行う。	水産課	
			【県単増殖場造成事業】 (御座地区)平成27年2月7日に志摩市が事業主体となり、志摩市志摩町御座地先に2,000kg内外の自然石330㎡による、築いそ事業を完了した。 (船越地区)平成27年2月7日に志摩市が事業主体となり、志摩市大王町船越地先に1,000kg内外の自然石330㎡による、築いそ事業を完了した。	【県単増殖場造成事業(増殖場造成)】実施主体：水産課 (波切地区)平成28年2月12日に志摩市が事業主体となり、志摩市大王町波切地先に2,000kg内外の自然石250㎡による、増殖場造成(つきいそ)工事を完了した。 (名田地区)平成28年2月12日に志摩市が事業主体となり、志摩市大王町名田地先に1,000kg内外の自然石267㎡による、増殖場造成(つきいそ)工事を完了した。	県単増殖場造成事業	アワビ・イセエビ・サザエ等の磯根資源量の増加を図り、安定した漁獲を維持することで沿岸漁業に従事する漁業経営体の経営の安定を図ることを目的に、投石事業(つきいそ)による漁場造成を行います。 (和具地区) 2,000kg内外の自然石 260m3(予定量) (片田地区) 1,000kg内外の自然石 286m3(予定量)	水産課	
			【稚海老の買取り放流】 実施主体：三重外湾漁協 漁獲された伊勢エビの稚魚を漁協、海老網漁業者で買取り再放流する。	【稚海老の買取り放流】 実施主体：三重外湾漁協 漁獲された伊勢エビの稚魚を漁協、海老網漁業者で買取り再放流する。		詳細はないが事業は実施		
			【海女漁業の再興を支援する複合魚種の高度生産システムと革新的販売方法の開発と導入】 実施主体：水産研究所 放流効果の向上が期待できるアワビ種苗の大型化を進めるため、海女らと協働し、簡易なアワビ種苗の育成技術の開発と大型種苗の放流試験を行いました。	【海女漁業の再興を支援する複合魚種の高度生産システムと革新的販売方法の開発と導入】 実施主体：水産研究所 海女漁業振興に係る新しい技術開発と現場への普及のため、水産研究所、大学、関係市、関係漁協による共同研究事業を平成25~27年度にかけて実施してきました。				
			【クルマエビ放流技術向上対策調査】 実施主体：水産研究所 伊勢湾口外海域(的矢湾沖)漁場において、約4万個体の稚エビを的矢湾内に放流するとともに、市場において、その後の再捕状況を調査しました。	【クルマエビ放流技術向上対策調査】 実施主体：水産研究所 志摩市のクルマエビ主産地である伊勢湾口外海域(的矢湾沖)漁場における放流効果の実態を把握するとともに、効果を高めるための放流手法について検討しました。平成25、26年度の標識放流群の再捕結果から、的矢湾内の放流場所として、湾奥も湾口も同等の効果があると判断されました。				
			【水産資源調査事業】 実施主体：水産課 志摩地域におけるクルマエビの放流効果の確認と技術向上に関する知見の収集を行うため、放流用のクルマエビ種苗に標識(尾肢カット)を打ち、試験操業・市場調査の混獲率から放流効果の把握を行うとともに放流適地・放流方法についても検討を行った。 ナマコの生息状況調査については漁業者と連携し実施した。(英虞湾内9地点) 藻場再生のための調査・試験として、ガンガゼの食害防止施設(ウニフェンス)を御座地区地先に設置して調査を行い、平成27年度もその効果について継続調査する。	【水産資源調査事業】 実施主体：水産課 試験操業・市場調査の混獲率から放流効果の把握を行うとともに、底質調査を実施することで放流適地・放流方法についても検討を行った。 藻場再生のための調査、試験として、ガンガゼの食害対策として平成26年度に設置したウニフェンスの効果実証試験を継続実施する。また、アラメスボアバッグ法によるアラメ藻場再生試験を行った。 志摩市の安乗、船越(内外海)、和具、迫子、塩屋、松山路、浜島の8箇所においてアサリ資源の生息調査を行った。				
	【6次産業化推進事業】実施主体：水産課 学校法人立命館と連携した6次産業化調査研究業務の実施 スポーツ栄養学会ブース出展(7/4~7/5) アグリビジネス創出フェア2015への出展(11/18~11/20) 大王町波切地内への藻類加工試験場の整備							

事業一覧表
「真珠層」自然の恵みの持続可能な利活用

取り組みの基本方針		取り組み内容	H24・25年度評価	平成26年度事業実績	平成27年度事業実績	平成28年度事業名	平成28年度事業内容	実施主体
2 自然の恵みの持続可能な利活用	(1) 資源管理型漁業の推進	養殖技術の向上		【系ノリ養殖技術開発】 新たな海藻養殖として期待される「ウスバアノリ」の人工・天然採苗技術を開発しました。	【系ノリ養殖技術開発】 濁りの強い環境下でも生育する、新たな海藻養殖対象種「ウスバアノリ」の人工・天然採苗技術を開発しました。ただし、生産現場における実用化には至っていません。	系ノリ養殖技術開発	新たな養殖対象として期待される系ノリ類（ウスバアノリ）の採苗、養殖技術を確立し、生産現場に技術移転します。	三重県水産研究所 水産課
				【新しい真珠養殖技術実証化事業】 シミ・キズのない高品質真珠の生産率の向上に有効な低塩分養生技術を現場に普及する実証試験に取り組むとともに、本技術によりシミ・キズが低減されるメカニズムの解明に取り組みました。	【新しい真珠養殖技術実証化事業】 光沢の良い真珠を生産するアコヤガイ（＝スーパーピース貝）の作出に取り組むとともに、養殖条件と真珠の光沢・干渉色との関係性を解明するための比較試験を実施しました。	新しい真珠養殖技術実証化事業	真珠養殖業の収益性をアップさせ、「稼げる里海」の創生に貢献することを目的に、真珠の品質面で重要視される 実体色、光沢・干渉色、シミ・キズを指標として、真珠の高品質化を図るための養殖技術およびアコヤガイの育種技術の開発に取り組めます。	三重県水産研究所
						多面的機能支払交付金事業	農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図ることを目的に、農地保全にかかる地域の共同活動に係る支援を行います。 農地10aあたり国・県・市で3,000円を交付する。 負担割合：国1/2 県1/4 市1/4	農林課
	(2) 森林・農地の適切な利活用の推進	里山や農地の保全活動に対する支援		【排水機場維持管理事業】 排水機場の適正な維持管理を行うため、三重県土地改良事業団体連合会へ専門的な業務の管理指導の業務委託を行った。	【排水機場維持管理事業】 排水機場の適正な維持管理を行うことで、出水時、耕地に流入する雨水を排除し、浸水被害の軽減を図るため、地元自治会へ運転管理を委託するとともに、三重県土地改良事業団体連合会への専門的な業務の管理指導を委託した。	排水機場維持管理事業	出水時に耕地に流入してくる雨水を排除し、浸水被害の軽減を図ることを目的に、排水機場の適正な維持管理を行います。 施設名：群羊排水機場・阿児排水機場・下之郷排水機場・坂崎排水機場 各施設2ヶ月に1回の定期点検と年次点検を実施する。	農林課
				【湛水防除事業】 既設阿児排水機場の隣接への新規排水機場施工のための実施設計、および既設排水機場の廃止のための実施設計等。	【湛水防除事業】 農地の湛水被害を未然に防止し、米等作物を安定して生産できるようにするため、工事を含む事業を実施した。	湛水防除事業	昭和56年度に整備された阿児排水機場および、昭和54年度に整備された下之郷排水機場について、湛水対策が十分出来るよう県営事業において整備を行います。 ・平成28年度は2月末までに下之郷排水機場の実施設計を完成させる予定。	農林課
				【農地海岸維持管理事業】 農地海岸を巡視し、状況把握を行った。	【農地海岸維持管理事業】 農林水産省農村振興局所管三重県管理に係る海岸保全区域の維持管理の目的のため、農地海岸維持管理業務を委託し、巡視による状況把握を行った。	農地海岸維持管理事業	農林水産省農村振興局所管県管理に係る海岸保全区域の通常の維持管理を行います。	農林課
				【農道・水路等維持管理事業】 農道・水路等の機能維持及び交通安全確保のため、維持工事、草刈、側溝清掃等の管理を行いました。	【農道・水路等維持管理事業】 農道、農業用水路等の農業用施設の機能維持及び交通安全確保を行うため、維持工事、草刈、側溝清掃等の業務委託を行った。	農道・水路等維持管理事業	農道・水路等の機能維持及び交通安全確保のため、維持工事、草刈、側溝清掃等の管理を行います。 草刈は7月に発注予定。	農林課
						基幹農道整備事業	磯部町と浜島町を結ぶ2車線の基幹農道（L=6.5km）について、古い工区で約18年が経過し、一般車両の通行も多く、広範囲で舗装の傷みが激しくなっていることから、機能保全対策として、舗装整備を実施します。 ・平成28年度は測量、土質試験及び実施設計を9月に発注予定。	農林課
				【中山間地域総合整備事業】 農道整備・農地防災・農業集落排水施設整備各事業の測量設計等施工準備、および一部農道舗装等。	【中山間地域総合整備事業】 中山間地域を対象に、農業の生産基盤の整備を中心としつつ、農村の生活環境の整備を総合的かつ一体的に実施した。	中山間地域総合整備事業	県営事業により、中山間地域を対象に、農業の生産基盤の整備を中心としつつ、農村の生活環境の整備を実施します。 ・全体計画期間は平成28年度から平成32年度の5箇年 ・平成28年度は全農道の土質試験、ため池のボーリング調査（2箇所）、ゲート改修（3箇所）の設計を予定。	農林課
				【造林事業】 ・志摩市山林運用基金条例に指定されている市有林の間伐等をいせしま森林組合に委託し、適正な管理を行った。 【実施場所】 作業面積 磯部町五知地内 7.00ha ・志摩市造林委員会を開催し、志摩市有林の適正な管理に努めた。 委員会開催回数 2回 現地調査 1回	【造林事業】 志摩市山林運用基金条例に指定されている市有林の下刈・枝打・間伐などの維持管理や境界確認を志摩市常設造林委員会の事業計画に基づき実施した。磯部町地内の市有林において間伐等の造林と境界確認を行った。 【間伐作業】 磯部町松山地内 1.13ha 磯部町山原地内 1.48ha	造林事業	志摩市常設造林委員会（定数5人、任期2年）の事業計画に基づき、志摩市山林運用基金条例に指定されている市有林の下刈り・枝打・間伐などの維持管理や境界確認を実施します。 ・作業箇所・作業内容：磯部町地内の市有林の間伐、下刈り各0.5haと境界確認を行う。（山田字柿ヶ谷） ・作業時期：平成28年11月から平成29年2月を予定。	農林課
				【森林環境創造事業】 重点地区の森林が持つ公益的機能を持続的かつ高度に発揮するため、適正な維持管理作業を実施した。	【森林環境創造事業】 森林の持つ公益的機能を維持するために、適正な維持管理作業を行った。重点地区の森林が持つ公益的機能を持続的かつ高度に発揮するため、下記の維持管理作業を行った。 ・阿児 横山創造の森 【作業内容】 下刈・間伐・受光伐 6.40ha ・浜島 磯苗公園 【作業内容】 歩道草刈 0.87ha ・磯部 漁火の森 【作業内容】 下刈・歩道・車道草刈り 3.14ha	森林環境創造事業	森林の持つ公益的機能を維持するためには適正かつ専門的な管理が必要であることから、県補助金を活用して、いせしま森林組合に委託して重点地区の整備を継続して行います。 （重点地区） 阿児町創造の森、磯部町漁火の森、浜島町オバベタ山 ・実施時期は8月から9月を予定している。	農林課
						森林経営計画作成推進事業	伊勢志摩森林組合が作成する、小規模な森林を一体的に施策するための森林経営計画策定に必要な経費を支援します。 1. 森林経営計画作成に必要な書類、現地踏査による森林情報の収集 2. 森林経営計画作成に必要な森林調査 3. 森林経営計画作成に必要な合意形成活動（説明会の開催や個別訪問） 4. 森林経営計画の作成 対象面積1haあたり国・県・市で38,000円を補助する。 負担割合：国1/2 県1/4 市1/4	農林課
				【漁火の森の植樹と整備と管理】 実施主体：いさびり会 苗木は友好姉妹都市、郡上市より荘川桜、薄墨桜などを30本と地元にて河津桜を34本購入し、64本植樹を行いました。	【漁火の森の植樹と整備と管理】 実施主体：いさびり会 落ち葉の落ちる木々を植えることにより、里山の養分が里海に流れ込み、海が豊かになり、良質の真珠や美味しい牡蠣・あおさのりが育つよう植えました。			
				【林業施設管理運営費】 実施主体：農林課 志摩市阿児地区にある市有の炭窯の待機所を修繕した。				
【林道維持管理事業】 実施主体：農林課 ・林道維持管理業務（草刈、側溝清掃等）の発注 ・原材料支給要望への対応 ・林道の損傷箇所修繕	【林道維持管理事業】 実施主体：農林課 林道の機能維持及び交通安全確保を行うため、維持工事、草刈、側溝清掃等の業務委託を行った。							


事業一覧表
「真珠層」自然の恵みの持続可能な利活用

取り組みの基本方針		取り組み内容	H24・25 年度評価	平成26年度事業実績	平成27年度事業実績	平成28年度事業名	平成28年度事業内容	実施主体	
2 自然の恵みの持続可能な利活用	(2) 森林・農地の適切な利 活用の推進	森林資源の利用促進方法 の開発と展開		【森と緑ふれあい事業】 「木とふれあう」「森林保全」「山の恵み」をテーマに里海創生に基づいた「里 山づくり講習会」を実施した。 木と触れ合う講習会 参加者12名 間伐体験 参加者16名 炭焼き体験 参加者13名		森と緑ふれあい事業	里山管理を進めることを目的に、みえ森と緑の県民税市町交付金を使って、里海 創生に係る里山づくり講習会を「木とふれあう」「森林保全」「山の恵み」を テーマに年間を通じて開催します。 里山づくり講習会：4回 ・「木とふれあう講習会」8月6日(土)創造の森横山にて実施予定。 ・「森林保全講習会」11月実施予定。 ・「炭焼き体験講習会」1月と2月に阿児炭窯にて実施予定。 ・ほのぼの公園木質化整備工事の発注を8月に予定。 また高耐久性加工処理を施した県産材の木材を利用し、ほのぼの公園他の木質化 整備を行います。 ・ほのぼの公園面積：1,259㎡	農林課	
				詳細はないが事業は実施	詳細はないが事業は実施	林道維持管理事業	林道の機能維持及び交通安全確保を目的に、維持工事、草刈、側溝清掃等の管理 を行う。 草刈は7月に発注予定。	農林課	
		鳥獣害の抑制対策の強化		【獣害対策事業】 農作物等を有害獣から保護するため、駆除した獣に応じた報償金を支払い、農作 物の被害軽減を図った。捕獲数 猪472頭 鹿23頭 猿8頭 猟友会へ有害鳥獣の駆除を委託し、農林水産物等の有害鳥獣からの被害防止・軽 減を図った。 獣害対策資材（電気柵器）を要望に応じて一括で購入し補助を行った。 補助対象件数 56件	【獣害対策事業】 有害鳥獣捕獲業務を志摩市猟友会に委託し、有害鳥獣捕獲許可（76件）の発行 により猪575頭、鹿49頭、猿1頭の捕獲を行った。 また、志摩市有害鳥獣対策協議会への負担金支払い、農家への電気柵器購入補 助（41件）、獣害対策講習会の開催（1地区）など獣害軽減に繋がる取り組みを 行った。	獣害対策事業	年々増加する獣害被害から農林産物被害の低減を図ることを目的に、以下の取り 組みを行います。 ・有害鳥獣捕獲許可業務 ・有害鳥獣捕獲業務を志摩市猟友会に委託、捕獲実績に応じた報償金の支払い ・電気柵器購入への補助 ・志摩市有害鳥獣対策協議会への負担金支払など	農林課	
	(3) 里海ツーリズムの推進	里海ツーリズム推進に向 けた体制の構築					御食つ国志摩誘客推 進事業	観光客の誘致促進を図るため、新しい里海のまち・志摩の観光資源を活用した観 光プログラムの発信や販路開拓、旅行会社へのセールス活動を推進します。	観光商工課
							伊勢志摩キャン ペーン 事業	観光客の誘致促進を図るため、毎年10月1日から3月31日まで、伊勢志摩 キャンペーン「美し国、まいろう。伊勢・鳥羽・志摩」と題し、「神宮」をメイ ンテーマに「食」「自然」「宿泊」をからめ、伊勢志摩の魅力を中心にキャン ペーンを展開します。 ・三重県、伊勢市、鳥羽市、志摩市、各市観光協会・商工会議所、商工会、三重 県観光連盟、近鉄、三重交通、伊勢志摩観光コンベンション機構等で実行委員会 を組織	観光商工課
		詳細はないが事業は実施	詳細はないが事業は実施	年末海族市	県内外からの観光客の誘客を図ることを目的に、期間限定の海鮮市場を開催しま す。	「御食つ国・志摩」年 末海族市実行委員会			
			【里海学舎構築業務】 アコヤガイを活用した学校での解剖教材の作出に向け、モデル授業などを実施し て教育効果を検証したほか、真珠をテーマにした体験講座を開催し、事業化を図 るための課題の整理を行った。	里海学舎構築業務	里海学舎が学校の臨海実習などで活用されることを想定し、教育旅行を引率する と考えられる市外の教員を対象としたモデルツアーを行い、プログラムの構成や 内容に関する評価を調査し、今後のプログラム見直しに向けた情報収集を行いま す。	里海推進室			
		【御食つ国志摩誘客推進事業】実施主体：㈱観光販売システムズ 旅行会社への積極的なセールス活動を実施したため、新しい旅行商品の作成がで きた。 来年度以降、作成された旅行商品を組み合わせ、更に魅力的な志摩の観光を提案 する土台ができた。	【御食つ国志摩誘客推進事業】実施主体：㈱観光販売システムズ 志摩市独自の観光プログラムの情報発信、旅行商品化を実現し、旅行会社への セールス活動を展開し、旅行パンフへの掲載に成功しました。						
		【スポーツ観光イベント推進事業】 実施主体：ツーデーウォーク実行委員会 関西圏での新聞広告や近鉄車両内での広告、主要駅へのポスター掲示、ラジオ やテレビでの呼びかけを通じ参加者を募った。	【スポーツ観光イベント推進事業】 実施主体：ツーデーウォーク実行委員会 関西圏での新聞広告や近鉄車両内での広告、主要駅へのポスター掲示、ラジオ やテレビでの呼びかけを通じ参加者を募った。						
		【星空の下で、星を見る会】実施主体：しま・星空愛好会 5回/年の天体観測会を開催した。	【星空の下で、星を見る会】実施主体：しま・星空愛好会 5回/年の天体観測会を開催した。						
(4) 地産地消の推進	地域産品の魅力の情報発 信					6次産業化推進事業	6次産業化を推進することを目的に、平成27年度に実施した6次産業化推進事 業の成果を踏まえ、具体的な施策の実施します。また、6次産業化推進協議会構 成機関における個別の取組・支援策について協議を行います。 ・6次産業化推進協議会の開催 ・芋の栽培から「きんこ」の加工までの一連の作業を体験する「きんこ塾」の開 催 ・アカモクの成分分析とレシピ集のパンフレット作成 ・志摩ブランド統一のPR用品として「のぼり」の作成、志摩ブランドの商談会 出展経費、専門アドバイザーの招聘 ・アグリビジネス創出フェアへのブース出展などの特産物のPR	農林課	
			【あわび王国まつり】実施主体：あわび王国まつり実行委員会 市民参加型のイベント、ステージイベント、市内外業者による物産品・飲食品 販売、友好町(岐阜県郡上市白鳥町・富加町)による物産品販売などを行った。	詳細はないが事業は実施		詳細はないが事業は実施			

事業一覧表
「真珠層」自然の恵みの持続可能な利活用

取り組みの基本方針		取り組み内容	H24・25 年度評価	平成26年度事業実績	平成27年度事業実績	平成28年度事業名	平成28年度事業内容	実施主体	
2・自然の恵みの持続可能な利活用	2 1 稼げる里海のまちづくり	(4) 地産地消の推進	市民が地域産品とふれる 機会の拡大	【阿児特産物開発センター管理運営】 地元生産物による加工品の製造・販売、農産物の加工技術の指導、加工品の講習会等を実施し、地元生産物の普及を図り、地産地消の推進を図った。 年間売上額：3,008,896円、施設使用料：38,750円	【阿児特産物開発センター管理運営】 地産地消を推進するため、地元生産物による加工品の製造・販売を積極的にを行い、販売数増加を目指し、農産物の加工技術の指導、講習会の実施や新規加工品の試作研究などを行い、農水産業者への普及を図った。 地元生産物による加工品の製造・販売 販売売上実績 4,293,122円	阿児特産物開発センター管理運営	地産地消を推進するため、地元生産物による加工品の製造・販売を積極的にを行い、販売数増加を目指します。また、農産物の加工技術の指導、講習会の実施や新規加工品の試作研究などを行い、農水産業者への普及を図ります。 売り上げ目標 3,600千円以上	農林課	
							海ほおずき物産等販売事業	地域の商工特産物生産者の発展に努めると共に、志摩地域の魅力のPRを更に推進することを目的に、志摩地域の個性的な魅力ある商品を来場者に提供します。	観光商工課
					【ええじゃんかまつり】実施主体：ええじゃんかまつり実行委員会 第20回記念でありテーマを「ふるさと」とし、人と人のふれあいの場を創出した市内外の住民総参加型のまつりとした。	詳細はないが事業は実施		詳細はないが事業は実施	
					【経済交流・観光交流推進強化事業（起業支援型地域交流創造事業）】 実施主体：志州隼人有限責任事業組合 志摩市の地域資源を活かした特産品を開発し市場化した。 インバウンド事業において、小規模宿泊施設への送客およびインバウンド団体ツアー受け入れ施設の拡充を行った。				
					【志摩市商工会地域活性化事業】実施主体：志摩市商工会 志摩の夏まつり事業、特産品PR事業、稼げる事業者づくり事業、5町商業連携事業、観光客誘致宣伝事業等の事業を実施した。	【志摩市商工会地域活性化事業】実施主体：志摩市商工会 志摩の夏まつり事業、特産品PR事業、稼げる事業者づくり事業、5町商業連携事業、観光客誘致宣伝事業等の事業を実施した。			
					【新産業おこしチャレンジ事業】実施主体：志摩市商工会 あかもく生産・販路拡大事業、きんこ生産・販路拡大事業、てこねによる街づくり事業等の事業を実施した。				
			詳細はないが事業は実施	【真珠婚おかげ参り】実施主体：真珠婚国際協会 平成27年に真珠婚式を迎えるご夫婦を全国に募集し、伊勢神宮で特別参拝を行った。地元真珠関係者の益々の発展を願って特別参拝を行った。あこや真珠と御神楽を奉納。		詳細はないが事業は実施			
		飲食店・宿泊施設での地域産品の活用推進				農業経営力向上支援事業	市内での農産物の流通状況を把握することを目的に、「市内の農家、農協、販売店、飲食店、宿泊施設、直売所等へのアンケート調査、聞き取りを行い、利用可能な統計データを活用して個別作物ごとに農業生産額及び生産量を算出するとともに、飲食店、宿泊施設にあたっては、地元食材利用の意向調査を併せて行う。	農林課	
	(5) 産業連携の推進	産業間が連携できる機会の創出	【水産技術クラスター構築による水産物高付加価値化促進事業】 実施主体：水産研究所 志摩市商工会、加工流通業者、三重外湾漁協、志摩市等と連携し、未利用海藻であるアカモクを活用した商品開発に取り組みました。	【水産技術クラスター構築による水産物高付加価値化促進事業】 実施主体：水産研究所 志摩市商工会、加工流通業者、三重外湾漁協、志摩市等と連携し、未利用海藻であるアカモクを活用した商品開発に取り組みました。					
既存産業基盤の強化や産業連携への支援		【6次産業化推進事業】実施主体：農林課 生産・加工・流通・観光の分野が連携して商品開発と販売戦略について具体的な取り組みについて研究した。	【6次産業化推進事業】実施主体：農林課 6次産業化、農水商工連携などの支援制度を活用して、生産・加工・流通・観光の分野が連携して商品開発と販売の推進を図るための具体的な取り組みを推進した。	6次産業化推進事業	6次産業化推進事業の成果を踏まえ、具体的な施策の実施します。また、6次産業化推進協議会構成機関における個別の取組・支援策について協議を行います。 ・6次産業化推進協議会の開催 ・芋の栽培から「きんこ」の加工までの一連の作業を体験する「きんこ塾」の開催 ・アカモクの成分分析とレシピ集のパンフレット作成 ・志摩ブランド統一のPR用品として「のぼり」の作成、志摩ブランドの商談会出展経費、専門アドバイザーの招聘 ・アグリビジネス創出フェアへのブース出展などの特産物のPR	農林課			
(6) 産業の担い手育成	新規就業希望者に対する支援の強化				地産地消産地化推進事業	安全安心な農作物の生産と加工及び地元消費の拡大を推進することを目的に、以下の事業に取り組みます。 ・農業経営指導員による農家や生産者団体への営農指導 ・ブルーベリー、オリーブ園の管理及び果樹栽培推進のための柿・梅などの栽培講習会の開催 ・地産地消推進事業として、農業塾やアグリスクールなどの支援のため農協へ補助 ・ブルーベリー園等について、収穫作業並びに特産物開発センターまでの運搬及び園地管理等を志摩市シルバー人材センターへ委託	農林課		
					新規就農者総合支援事業	農業従事者の高齢化が急速に進展するなか、持続可能な強い農業を実現するためには、青年の新規就農の拡大を図る必要があることから、就農意欲の喚起や就農後の定着を図ることを目的に、新規に就農者の技術の習得や所得を確保するための給付金を給付します。 【対象者】 45歳未満で新規就農者の認定を受けた人	農林課		

事業一覧表
「真珠層」自然の恵みの持続可能な利活用

取り組みの基本方針		取り組み内容	H24・25 年度評価	平成26年度事業実績	平成27年度事業実績	平成28年度事業名	平成28年度事業内容	実施主体
2・自然の恵みの持続可能な利活用	2 1 稼げる里海のまちづくり (6) 産業の担い手育成	経営基盤の強化				稼げる事業者づくり	地域特産品の商品開発、販路開拓、志摩の食材料理を基本にした地域観光対策に取り組む事業者を支援します。 ・5町商業連携事業 ・稼げる事業者づくり ・志摩の夏祭り事業 ・観光客誘致宣伝事業 ・特産品PR事業	志摩市商工会
						商工団体関係補助金	志摩市商工会の行う小規模事業者に対する指導事業等・商工会の実施する各種事業に対して補助することにより、地元商工業者の事業振興及び地域活性化を図ります。	観光商工課
				【農業生産者育成事業】 農業生産者団体の先進的な取り組みや技術導入に対して、1団体50万円を上限（事業費の2分の1以内）として、補助を行った。 申請団体：5団体 支給額：827,722円	【農業生産者育成事業】 生産性の向上と担い手の育成を図る目的で市内の農業生産者に対して、農業用ビニールハウスの新設に対して補助を行った。補助金は、補助対象経費の2分の1以内で上限15万円としたところ、4件の申し込みがあった。	農業生産者育成事業	農業生産者の担い手の育成を図ることを目的に、先進的な取り組みや施設整備に支援を行います。 農業生産者団体育成事業 農業生産者団体の先進的な取り組みや技術導入に対して補助金を交付します。 ・1団体あたり上限10万円で事業費の2分の1以内。 農業生産者育成事業 ビニールハウスの新設を行う農業生産者に対して補助金を交付します。 ・1生産者あたり上限15万円で事業費の2分の1以内。	農林課
				【地産地消産地化推進事業】実施主体：農林課 ・農業経営指導員による農家や生産者団体への営農指導、ブルーベリー園の管理を実施した。 ・果樹栽培推進の苗木補助と柿・梅などの栽培講習会の開催を実施した。 ・地産地消推進事業として、農業塾「なごみ」やアグリスクールなどの支援のため鳥羽志摩農業協同組合へ補助を行った。	【地産地消産地化推進事業】実施主体：農林課 農業経営指導員による農家や生産者団体への営農指導の実施 ・柿の接ぎ木講習会の開催（5月）参加者27名 ・ブルーベリー栽培講習会（8月）参加者13名 ・梅の剪定講習会の開催（11月）参加者20名 鳥羽志摩農業協同組合が例年取り組んでいる農業塾「なごみ」やアグリスクールなどの支援として、補助金900,000円を支払った。			
					【農業生産者団体育成事業】実施主体：農林課 農業生産者団体の先進的な取り組みや技術導入に対して補助し、生産性の向上と担い手の育成を図ることを目的に1団体につき補助対象経費の2分の1で上限10万円の補助を実施したところ、3件の申し込みがあった。			

事業一覧表
「真珠層」自然の恵みの持続可能な利活用

取り組みの基本方針	取り組み内容	H24・25 年度評価	平成26年度事業実績	平成27年度事業実績	平成28年度事業名	平成28年度事業内容	実施主体			
2・自然の恵みの持続可能な利活用	(1) 学校教育における里海学習の充実	😊	【学べる里海推進事業】実施主体：学校教育課 志摩市内小中学校8校において、以下のような取組が実施された。 地域の産業や志摩の自然を体験 真珠養殖体験（立神小）アオサ養殖体験（立神小）カキ養殖体験（的矢小）エビ網漁体験（布施田小）浜掃除（布施田小・波切小）「海」をモチーフにした写真会・展示（波切小・大王中）シーカヤック体験（波切小） 交流をとおした体験学習～岐阜県郡上市立牛道小学校との交流～ 貝クラフト、シーカヤック体験（片田小） キャリア教育につながる水産高校との交流 アジの干物作り（波切小）アジのみりん干し作り（和具小）万力作り（船越小）	【学べる里海推進事業】実施主体：学校教育課 摩市内小学校15校において、以下のような取組が実施された。 地域の産業や志摩の自然を体験 真珠養殖体験（立神小・船越小・越賀小）アオサ養殖体験（立神小）カキ養殖体験（的矢小）エビ網漁体験（布施田小・和具小・志島小）浜掃除（越賀小・布施田小・波切小）「海」をモチーフにした写真会・展示（波切小）シーカヤック体験（波切小・片田小・安乗小） 交流をとおした体験学習～岐阜県郡上市立牛道小学校との交流～ 貝クラフト、シーカヤック体験（片田小） キャリア教育につながる水産高校との交流 和具小 越賀 神明 アジの干物作り（波切小）アジのみりん干し作り（和具小）万力作り（船越小） 市内施設を利用した社会見学・体験学習 浜島体験施設 海ほおずき 横山ビジターセンター 三重県水産研究所 山田エコセンター 磯部浄水場 鳥羽志摩クリーンセンター	学べる里海推進事業	里海概念や自然の持っている機能の保全と自然を利用するために必要な取組等の理解を深め、地域の産業後継者や環境保全に貢献できる人材を育成するための体験的な学習や地域の海・山・川や「知識・技能」を有する地域の人々及び環境保全に携わる人々と連携した学習や、志摩市の特産物である真珠・あおさ養殖等の水産業の学習を計画する教育活動に補助を行います。 波切小...水産高校との交流 海岸清掃 海をテーマにした絵を描く シーカヤック体験 片田小...シーカヤック体験 布施田小...イセエビ網漁体験 広域ごみ処理施設見学 浜掃除 和具小...水産高校との交流 イセエビ網漁体験 越賀小...広域ごみ処理施設見学 磯部小...海ほおずきでの磯体験 広域ごみ処理施設見学 志摩自然学校体験プログラム 神明小...横山ビジターセンター動植物の観察 水産高校との交流学習 広域ごみ処理施設見学 シーカヤック体験 立神小...アオサ及び真珠養殖体験 広域ごみ処理施設及び浄水場見学 草木染め体験 志島小...横山ビジターセンタ動植物観察および志摩市歴史民俗資料館見学 山田エコセンターおよび磯部浄水場の見学 甲賀小...広域ごみ処理施設見学 国府小...シーカヤック体験 広域ごみ処理施設及び浄水場見学 安乗小...シーカヤック体験 磯部小...シーカヤック体験 広域ごみ処理施設見学	学校教育課			
				【市内小中学校での出前授業の実施】実施主体：環境省 伊勢志摩国立公園の自然や身の回りの生き物の大切さを伝える授業を行いました。 (実施校) 志島小、越賀小、成基小 (受講生徒数) 合計112名		【市内小中学校での自然環境保全のための出前授業】 伊勢志摩国立公園の自然や身の回りの生き物の大切さを伝える授業を行いました。 (実施校) 成基小、志島小、波切小 (受講生徒数) 合計177名	市内小中学校での自然環境保全のための出前授業	中小生に身の回りの自然の大切さを理解し、愛着や誇りを持ってもらうことを目的に、伊勢志摩国立公園の自然や身の回りの生き物の大切さを伝える授業を行います。 (28年度予定) 神明小 ほか	環境省中部地方環境事務所	
				【幼稚園・学校における環境美化活動・栽培体験活動】 実施主体：学校人権教育課 <清掃美化活動> ・幼稚園1園、小学校16校、中学校5校が実施した。 <栽培体験活動> ・幼稚園7園、小学校11校、中学校2校が実施した。	😊	【幼稚園・学校における環境美化活動・栽培体験活動】 実施主体：学校人権教育課 <清掃美化活動> ・幼稚園2園、小学校14校、中学校6校が実施した。 <栽培体験活動> ・幼稚園7園、小学校13校、中学校3校が実施した。				
	(2) 市民みんなが参加できる里海学習機会の充実	子どもから大人まで参加できる学習機会の創出	😡	【里海学舎構築研究会事業】実施主体：里海推進室 年8回の研究会を開催し、里海学舎構築に向けた協議・検討を行った。また、2月には、関係団体などで伊勢志摩里海学舎設置準備委員会を設置し、運営主体の選定等に取り組み始めた。						
					【伊勢志摩元氣プロジェクト賢島大学】実施主体：伊勢志摩元氣プロジェクト賢島大学 地域の活性化と人材育成を大きな目的に、伊勢志摩(特に志摩市)を中心に学習し、座学以外に活動や事業提案を行いました。 ・教養講座(年間10回、第4木曜日) ・賢島(志摩市)活性化のためのプロジェクト ・多徳島へ行こう会	伊勢志摩元氣プロジェクト賢島大学	地域の活性化と人材育成を大きな目的に、伊勢志摩(特に志摩市)を中心に学習し、座学以外に活動や事業提案を行います。 ・教養講座(年間10回、第4木曜日) ・賢島(志摩市)活性化のためのプロジェクト ・多徳島へ行こう会	伊勢志摩元氣プロジェクト賢島大学		
					【伊勢志摩国立公園自然観察会】 実施主体：伊勢志摩国立公園パークボランティア連絡会 5・7・10月に観察会を実施した。		【横山ビジターセンター、横山展望台の魅力向上】実施主体：環境省 横山ビジターセンターの映像展示の更新、展示の多言語化、リアルタイム情報の発信強化及びトイレの洋式化等を行いました。			
					【森と緑ふれあい事業】実施主体：農林課 「木とふれあう」「森林保全」「山の恵み」をテーマに里海創生に基づいた「里山づくり講習会」を実施した。	森と緑ふれあい事業	「木とふれあう」「森林保全」「山の恵み」をテーマに里海創生に基づいた「里山づくり講習会」を実施します。	農林課		
	(3) 観光客に対する里海学習や体験学習機会の提供	事業者などを対象とした里海学習の実施	😊							
		里海学習を担う人材の育成	😊			里海学舎構築業務	里海学舎で必要となる学びのコンテンツの確立を図るため、里海のガイド養成に向けたテキストの作成を行います。	里海推進室		
		新しい里海創生の取り組みを盛り込んだツアーの開発	😊	【志摩自然学校運営事業】 観光関係団体と協働し、地域の特性を生かした自然体験プログラムを構築し、体験学習を実施した。	【志摩自然学校運営事業】 観光関係団体と協働し、地域の特性を生かした自然体験プログラムを構築し、体験学習を実施した。	志摩自然学校運営事業	自然環境を中心とした情報の収集・発信、地域の自然体験企画等コーディネートし、里海ツーリズムによる集客交流の拠点として、農林水産業者をはじめ観光関係団体と協働し、地域の特性を生かした自然体験プログラムの構築、体験学習を実施する志摩自然学校を運営します。	観光商工課		
				伊勢志摩国立公園調査活動	海岸の植物、地域の文化、近畿自然歩道等の施設を調査し、その魅力を発信することを目的に、伊勢志摩国立公園内を踏査し、調査結果を横山VCで発信したり、志摩自然保護官事務所がFacebookで発信するために提供します。 ・近畿自然歩道とその周辺地域 ・浜島町、志摩町小島などで海岸の調査 ・1～3月に創造の森横山でアカガエルモニタリング調査	伊勢志摩国立講演パークボランティア連絡会				

事業一覧表
「真珠層」自然の恵みの持続可能な利活用

取り組みの基本方針		取り組み内容	H24・25 年度評価	平成26年度事業実績	平成27年度事業実績	平成28年度事業名	平成28年度事業内容	実施主体
2・自然の恵みの持続可能な利活用	2 2 学べる里海のまちづくり	(3) 観光客に対する里海学習や体験学習機会の提供		詳細はないが事業は実施	詳細はないが事業は実施	伊勢志摩国立公園自然観察会	伊勢志摩国立公園自然ふれあい推進協議会（横山ビジターセンター）の実施する自然観察会に運営協力するため、年間を通じて伊勢志摩国立公園内で開催される自然観察会にスタッフとして参加し、運営に携わります。	伊勢志摩国立講演パークボランティア連絡会
				詳細はないが事業は実施	詳細はないが事業は実施	伊勢志摩国立公園横山展望台定点ガイド	伊勢志摩国立公園を代表する英虞湾の魅力をもっと深く知ってもらうことを目的に、多くの観光客が訪れる横山展望台で、景観、リアス海岸の成り立ち、真珠やアオサノリの養殖などについてガイドします。 ・毎月第2日曜日10:00～12:00に、横山展望台にて無料でガイド（申込み不要） ・双眼鏡の貸し出し、地図・パンフレットの配布等も行っています。 ・雨天時には横山ビジターセンター館内で利用者へのガイドを行います。 ・今年度よりガイドの人数を1名増やして対応します。	伊勢志摩国立講演パークボランティア連絡会
						星空の下で星を見る会	志摩の星空の良さ(美しさ)を知り、広める。天文を学習することにより、地域の天文に関しての魅力をアップする。天文愛好家の育成。星空を志摩の観光に、などを目的に、星に関するイベントの開催。出前授業、出前観測会。志摩・星空10景の選定などを行います。	志摩・星空愛好会
		観光施設などにおける環境配慮の強化と認証制度						
	(4) 楽しみながら学べる学習プログラム・教材の開発	体験型里海学習プログラムの企画		水産業と観光業の連携により、都市住民の交流ニーズに合わせた集客交流事業を実施しました。 ・磯体験事業 ・故郷料理体験事業 ・水産加工体験事業 ・学習体験事業	水産業と観光業の連携により、都市住民の交流ニーズに合わせた集客交流事業を実施しました。 ・磯体験事業 ・故郷料理体験事業 ・水産加工体験事業 ・学習体験事業	海ほおずき体験事業	水産業と観光業の連携により、都市住民の交流ニーズに合わせた集客交流事業を実施します。 ・磯体験事業 わんぱく磯に英虞湾周辺に生息する魚介類を飼育し、大人・子ども等が直接手で触れ観察できる体験等の提供を通して海・磯に興味を抱き、身近な海の環境・資源の大切さを伝える。 ・故郷料理体験事業 伊勢志摩を代表する郷土料理「てこね寿司づくり体験」を軸に、漁村の伝統的な食文化の継承と水産物消費拡大を図り、食育の重要性を来場者に認識してもらう。 ・水産加工体験事業 地元沿岸水産物（アジ・カマス・シイラ等）を利用し、鮮度の良い食材が食文化を育てる事に理解を求め、魚介類の加工による魚食文化の向上と消費拡大を図る。 ・学習体験事業 水産業・漁業関連の学習体験により、都市住民への漁村文化の提供等を通じて他産業への連携を推進する。	観光商工課
				【しまこどもセンター事業】 8月26日にともやま公園において、平成26年度志摩市ジュニアリーダー研修会を実施。シーカヤック体験・里海講座（ふりかえり講座）を予定していたが、天候により実施できなかった。 志摩市内の中学校7校から中学2年生の男女16名が参加。	【しまこどもセンター事業】実施主体：生涯学習スポーツ課 8月25日にともやま公園において、平成27年度志摩市ジュニアリーダー研修会を実施。シーカヤック体験・里海講座（ふりかえり講座）を予定していたが、台風接近により実施できなかった。 志摩市内の中学校7校から中学2年生の男女18名が参加。	しまこどもセンター事業	将来のリーダーとして活躍する人材の育成を図ることを目的に、市内の中学2年生を対象にジュニアリーダー研修会を開催し、子どもたちの積極性、自立心、協調性、創造性などを養うとともに、郷土への愛着を育てます。 実施時期：平成28年8月末	生涯学習スポーツ課
				【青少年交流事業「JENESYS2.0」】実施主体：志摩市国際交流協会 志摩市国際交流協会と市が共催で、日本政府が進める青少年交流事業「JENESYS2.0」にかかる大学生訪日団を受け入れた。				
				里海学習教材の開発・普及		【里海学舎構築業務】 アコヤガイを活用した学校での解剖教材の作出に向け、モデル授業などを実施して教育効果を検証したほか、真珠をテーマにした体験講座を開催し、事業化を図るための課題の整理を行った。	里海学舎構築業務	平成27年度に開発したアコヤガイの解剖教材を用いた授業プログラムを確立し、授業を実施するためのテキストを作成します。また、年間を通してアコヤガイ教材を確保する手法を確立します。

事業一覧表
「真珠層」自然の恵みの持続可能な利活用

取り組みの基本方針	取り組み内容	H24・25年度評価	平成26年度事業実績	平成27年度事業実績	平成28年度事業名	平成28年度事業内容	実施主体		
2・自然の恵みの持続可能な利活用	(1) 親しみやすく安全な沿岸域の形成	防災と環境保全、親水性を兼ね備えた河川・海岸整備	【河川・排水路改良事業】 主に準用河川松山川の護岸整備を環境保全型ブロックにより、施工を行った。	【河川・排水路改良事業】 主に普通河川黒岩川の護岸整備をブロックにより、施工を行った。	河川・排水路改良事業	河川氾濫等の自然災害から市民の生命と財産を守るとともに、河川環境及び海洋環境の保全に寄与することを目的に、準用河川江田川の土砂堆積状況、洗掘箇所等を調査後、堆積土砂の除去及び河床への捨石、フロンかご等を施工します。	建設整備課		
			【国府・志島地区海岸津波避難訓練】 平成26年7月27日(日)広報訓練、津波警報伝達訓練、避難誘導訓練及びモーターサイレン吹鳴実験の実施した。	【国府・志島地区海岸津波避難訓練】 平成27年7月26日(日)広報訓練、津波警報伝達訓練、避難誘導訓練を実施した。	国府・志島地区海岸津波避難訓練	海岸利用者及び地域住民の防災意識の高揚と防災力の向上を図る。 国府地区海岸・志島地区海岸において津波避難訓練を7月31日に実施する。	志摩コストガードアンス		
					防災訓練経費	南海トラフ地震・津波を想定して、沿岸域(津波浸水想定区域)の市民や観光客の安全を確保するため、津波避難訓練をはじめ各種訓練を9月25日に実施する。	地域防災室		
					防災情報発信事業	住民はもとより、志摩市を訪れた外国人を含む観光客の安全を確保するため、観光ARアプリ「かざすCITY志摩」へ防災情報コンテンツを追加し、広報などを通じて周知を行っている。 このアプリは、津波浸水想定区域の表示や位置情報を活用し、現在地から避難所までのルート案内を行う。また、外国人対応として、多言語化にも対応している。	地域防災室		
					防災情報発信事業	サミット開催に伴い、増加が見込まれる賢島を訪れる観光客の安全を確保するため、日本語と英語で表記した賢島津波防災ハザードマップを製作し、賢島駅をはじめ島内の各事業所へ配布し、活用を図っている。	地域防災室		
					地震・津波避難対策整備事業	海岸利用者の安全を確保を目的に、全国瞬時警報システム(J-アラート)からの情報を海岸利用者へ周知する津波避難用閃光灯を設置し、海岸利用者の安全を確保するため、適正な運用を行っている。	地域防災室		
					津波避難計画策定事業	津波発生時における津波浸水想定区域内の市民や観光客の安全を確保するため、津波避難計画を策定する。	地域防災室		
	(2) さまざまな沿岸域利用のためのルールづくり	災害時における円滑な避難路の確保	🤔			避難路整備事業	沿岸域(津波浸水想定区域)の市民や観光客の安全を確保するため、避難経路の整備など地震・津波避難対策を実施する。	地域防災室	
					【英虞湾を拠点とした里海づくり事業】実施主体：英虞湾愛好会 志摩市と連携し啓発用のぼり旗を作り、清掃活動の際に海の環境を保全する啓発を行った。	英虞湾を拠点とした里海づくり事業	英虞湾を愛し、綺麗な海、楽しい海、かれめる海をモットーに、地元漁業者、マリネリジャー共にマナー向上し、観光でも賑わう里海づくりを目指します。 1. 年数回の英虞湾清掃活動 2. その他、英虞湾に関する保全活動	英虞湾愛好会	
					【市後浜海岸清掃活動とセキュリティ活動】実施主体：市後サーフクラブ ・市後浜周辺の各駐車場にルールマナーのポスターを製作し配布しました。 ・NSA各支部による定期クリーンビーチ活動の後方支援を行いました。 ・消防署にて心配蘇生法とAED使用方法の講習を受講しました。		【市後浜海岸清掃活動とセキュリティ活動】実施主体：市後サーフクラブ 市後浜周辺の各駐車場にルールマナーのポスターを制作し配布。 NSA各支部による定期クリーンビーチ活動の後方支援。 など	市後サーフクラブ	
				詳細はないが事業は実施	詳細はないが事業は実施	観光イベント等支援事業	伊勢志摩を代表する伝統的な祭りや文化を通じて、市内外から多数の観客交流を図るため、伊勢えび祭保存会及び大島祭奉賛会に対し補助金を交付します。 平成28年度実施(予定)日：伊勢えび祭 6月4日(土)、潮かけ祭 7月4日(月)	観光商工課	
				詳細はないが事業は実施	詳細はないが事業は実施	地域イベント支援事業	地域の特色を生かした観光客の集客と志摩地域のPRを支援することを目的に、あわび王国まつり実行委員会が実施するあわび王国祭りに補助金を交付します。	観光商工課	
				詳細はないが事業は実施	詳細はないが事業は実施	地域イベント支援事業	わらじ祭を通じた観光集客事業の推進を図ることを目的に補助金を交付します。	観光商工課	
					【志摩ロードパーティーハーフマラソン2014】 実施主体：志摩ロードパーティー2014実行委員会	【志摩ロードパーティーハーフマラソン2015】 実施主体：志摩ロードパーティー2015実行委員会 平成27年度で11回目を迎えた志摩ロードパーティーハーフマラソン2015だが、当日は生憎の天気でエントリー総数(8,279名)の88.1%の参加者数になってしまった。 また2014年度に比べるとエントリー総数で約1,000名の減であった。	志摩ロードパーティー2016	誰もが気軽に参加できるスポーツイベントを通じ、志摩の優れた自然環境や観光資源をPRすることで、スポーツ観光の推進、地域振興に資することを目的として、志摩スペイン村を発着地点とする15キロマラソン、5キロマラソン、お菓子パーティーラン(3キロ)を実施します。 また、昨年に引き続き地元関係者による物産市などのブースを設ける他、前日にはなぶら〜ウェルカムパーティーも実施します。 平成28年11月12日(土)なぶら〜ウェルカムパーティー(前夜祭) 平成28年11月13日(日)大会当日	志摩ロードパーティー2016実行委員会
				詳細はないが事業は実施	詳細はないが事業は実施	伊勢志摩ツーデーウォーク	幅広い年齢層の方々が気軽に楽しく参加できるスポーツを官民一体となって推進し、スポーツ観光都市・志摩を全国に発信していくことを目的に、伊勢志摩ツーデーウォークを開催。	伊勢志摩ツーデーウォーク実行委員会	
市民みんなで沿岸域にふれあう機会の創出	🤔	詳細はないが事業は実施	詳細はないが事業は実施	伊勢志摩・里海トライアスロン	全国から、専門的なアスリートの誘客を図ることを目的に、地元住民の参加を得るなどし、地元が丸となってトライアスロン大会を実施する。 7月4日開催	伊勢志摩・里海トライアスロン実行委員会			
		詳細はないが事業は実施	詳細はないが事業は実施	スポーツ観光イベント推進事業	スポーツ観光による集客交流を図ることを目的に、すでに定着している志摩ロードパーティー・伊勢志摩ツーデーウォークなどに加え、伊勢志摩里海トライアスロン大会・伊勢志摩サイクリングフェスティバル・JVAビーチバレーボールシリーズA志摩大会を始めとした各種スポーツ大会の開催を支援します。 平成28年3月に「スポーツ観光都市」を宣言した。 平成28年度実施(予定)日 ・ジャパンビーチバレーボール2016第2戦志摩大会 6月18日(土)19日(日) ・伊勢志摩・里海トライアスロン大会 7月3日(日) ・伊勢志摩ツーデーウォーク 10月8日(土)9日(日) ・志摩ロードパーティー 11月13日(日) ・伊勢志摩サイクリングフェスタ 11月27日(日)など	観光商工課			
	【海水浴場運営事業】 御座白浜と阿児の松原海水浴場の管理を三重外湾漁業協同組合に委託し、安心・安全な海水浴場の運営を行った。	【海水浴場運営事業】 御座白浜と阿児の松原海水浴場の管理を三重外湾漁業協同組合に委託し、安心・安全な海水浴場の運営を行った。	海水浴場運営事業	「御座白浜」と「阿児の松原」の海水浴場の運営委託を行います。	観光商工課				
	【海水浴場運営事業】 次郎六郎海水浴場の管理運営を行った	【海水浴場運営事業】 次郎六郎海水浴場の管理運営を行った	次郎六郎海水浴場運営事業	「次郎六郎海水浴場」の管理運営を行います。	観光商工課				
	【渡鹿野パールビーチ管理運営費】 主な管理費(水道光熱水費・施設修繕料・浄化槽清掃料・水質検査料・植栽剪定業務委託料・渡鹿野パールビーチ管理運営費)	【渡鹿野パールビーチ管理運営費】 主な管理費(水道光熱水費・施設修繕料・浄化槽清掃料・水質検査料・植栽剪定業務委託料・渡鹿野パールビーチ管理運営費)	渡鹿野パールビーチ管理運営費	「渡鹿野パールビーチ」の維持管理を目的に、海水浴場としての安全と景観保持のため遊泳監視、ゴミ処理等を渡鹿野区に委託します。 また市は水質検査、浄化槽点検、樹木剪定を行います。 期間は4月〜翌年3月。	建設整備課				

事業一覧表
「真珠層」自然の恵みの持続可能な利活用

取り組みの基本方針		取り組み内容	H24・25 年度評価	平成26年度事業実績	平成27年度事業実績	平成28年度事業名	平成28年度事業内容	実施主体
2 自然の恵みの持続可能な利活用	2 みんなで沿岸域を使える制度やルールを整備	市民みんなで沿岸域にふれあう機会の創出	😊	詳細はないが事業は実施	【志摩里海マリンフェスタ】実施主体：志摩里海マリンフェスタ実行委員会 今回から共同でシーカヤック協議と共にスタンディングパドルボート競技も合わせて行った。また昨今普及してきたフライボードの体験会やフラダンスやバンド演奏も盛況のうちに終える事が出来た。参加者300名		英虞湾を愛し、綺麗な海、楽しい海、ふれあえる海をモットーに、地元漁業者、マリンレジャー共にマナー向上し、観光でも賑わう里海づくりを目指します。 1. 年数回の英虞湾清掃活動 2. その他、英虞湾に関する保守活動 3. マリンレジャー、地元漁業者との共存に必要な活動	英虞湾愛好会
				詳細はないが事業は実施	【立神四季物語実行委員会】実施主体：立神四季物語実行委員会 ・石測交差点の花壇運営 ・里海セミナー ・立神落語会		詳細はないが事業は実施	
				【不法投棄防止対策事業】 美化衛生課 公共の用地への不法投棄防止を図るため、不法投棄防止啓発看板を購入した。	【不法投棄防止対策事業】 美化衛生課 公共の用地への不法投棄防止を図るため、不法投棄防止啓発看板を購入した。	不法投棄防止対策事業	公共用地の不法投棄防止を目的として、不法投棄防止啓発看板等を購入する。また、不法投棄物であることが確認された家電リサイクル法対象機器等が清掃センターに搬入された際に、市がリサイクル手数料等を負担し指定引き取り場所等へ搬入する。	ごみ対策課
	3 遊べる里海のまちづくり	ポイ捨て防止啓発の強化	😊	【環境監視事業】実施主体：環境課 ・市内の水質汚濁、不法投棄、悪臭、騒音等の状況を確認・調査することにより、市内の自然環境を保全するため、環境監視員が定期的に巡回を行った。報告のあった案件については、道路管理者、河川管理者等へ連絡し対応を依頼した。 ・環境監視員... 18人・報告件数... 434件 ・連絡会議開催... 2回（自転車等監視員と共催）	【環境監視事業】実施主体：環境課 ・市内の水質汚濁、不法投棄、悪臭、騒音等の状況を確認・調査することにより、市内の自然環境を保全するため、環境監視員が定期的に巡回を行った。報告のあった案件については、道路管理者、河川管理者等へ連絡し対応を依頼した。 ・環境監視員... 18人・報告件数... 716件 ・連絡会議開催... 2回	環境監視事業	自然環境を保全することを目的に、志摩市の自然と環境の保全に関する条例施行規則の規定に基づき環境監視員（18名）を任命して、担当区域を毎月定期的に1回以上巡回します。 ・水質汚濁、不法投棄、悪臭、騒音等の環境に影響を及ぼすと思われる状況を確認・調査し報告します。 ・環境の保全に関する業務及び清掃事業に積極的に協力します。 ・年2回以上の連絡会議を実施します。	環境課
				詳細はないが事業は実施	詳細はないが事業は実施	清掃活動	地域の美化を目的に、それぞれの地域において清掃、草刈り等を実施	市内自治会
	3 美しい沿岸域維持のための清掃活動の推進	市民一斉掃除イベントの開催	😊	【志摩市美化パートナー事業】実施主体：建設整備課 今年度は、18団体の登録があり、公共施設や周辺の除草・清掃・花壇作り等の活動を行った。 助成する内容は、作業に要したゴミ袋、サライ等の清掃用品、花の苗・肥料等が対象となる。	【志摩市美化パートナー事業】実施主体：建設整備課 今年度は、18団体の登録があり、公共施設や周辺の除草・清掃・花壇作り等の活動を行った。 助成する内容は、作業に要したゴミ袋、サライ等の清掃用品、花の苗・肥料等が対象となる。	美化パートナー事業（修正）	市民団体が、志摩市が所管する道路、河川等において実施する清掃活動や景観保持に係る経費を助成します。 毎年度20団体ほどが申請して活動し、花植え、除草、樹木の剪定などを行う。活動期間は4月～翌年3月。 （追加）現状の事業に加え、毎年度自治会や住民からの要望が絶えない道路沿線の個人地からの樹木伐採の助成を拡充するよう平成28年度検討を行う。	建設整備課
				【ゴミ拾いウォーキング】 平成26年4月29日午前10時～浜島大矢浜入口からピン玉ロード沿いをゴミを拾いながら歩きました。26年度で10回目となります。		ゴミ拾いウォーキング	障がいのある仲間やその家族、地域住民が互いに触れ合い、喜びや希望を持ち、どう地域で生活していくかを考え、実践することを目的に、毎年、4月29日(昭和の日)に大山浜入口からピン玉ロードを進み、宝来荘下までを往復歩きながらゴミ拾いをします。	浜島心身障がい児者と保護者会
				【漁港・海岸清掃】 漁民のほか地区住民も参加して、各地区の漁港及び海岸の清掃を実施した。	【漁港・海岸清掃】 漁民のほか地区住民も参加して、各地区の漁港及び海岸の清掃を実施した。	漁港・海岸清掃	海岸環境の悪化、美しい浜辺の景観の喪失、海岸機能の低下、船舶の航行障害や漁業への悪影響を防ぐことを目的に、漁港・海岸の漂着ごみの清掃を行います	三重外湾漁業協同組合
						海岸環境整備事業（追加）	三重県が管理する海岸のうち13海岸を委託し清掃を志摩市が行っている。市が自治会、漁協等に委託して年間を通じて清掃活動を行う。	建設整備課
						伊勢志摩国立公園の魅力向上事業(清掃活動)	主要な道路等のごみ拾い、美観を損ねている草木の手入れ、歩道や展望所等の清掃といった美化運動、景観形成、自然公園施設の維持管理等の活動を対象に、活動内容と開催日を定めて年1回以上、志摩市全域を対象に国立公園の魅力向上することを目的とした活動に取り組む。	環境課
				【市後浜海岸清掃活動】実施主体：志島地区振興委員会・市後浜駐車場協会 4月：市後浜周辺道路草刈、8月20～24日：浜掃除、10月中旬～11月下旬まで時間のある時に浜掃除。 毎月第2・4日曜日の海岸のごみ拾いを実施した。	【市後浜海岸清掃活動、市後浜海岸周辺道路清掃活動】 実施主体：市後浜駐車場協会・市後サーフクラブ ・4・6・9月：市後浜周辺道路草刈り、10月：市後浜海岸清掃 ・毎月第2・4日曜日海岸ゴミ拾い(サーファー、海水浴等のお客さん100～200名)			
				【浜島地区内 ゴミゼロ運動】実施主体：浜島自治会 ・地区内全域と海岸のゴミ処理（ゴミ拾い） ・地区内33番組自治会より参加者500名	【ゴミ拾いウォーキング】実施主体：浜島自治会 ・浜島大矢浜～ピン玉ロードを親子・ボランティアグループさくら会、社協職員等でゴミ処理（ゴミ拾い）。全員で20名参加。			
		【英虞湾を拠点とした里海づくり事業】実施主体：英虞湾愛好会 志摩市と連携し啓発用のぼり旗を作り、清掃活動の際に海の環境を保全する啓発を行った。	英虞湾を拠点とした里海づくり事業	英虞湾を愛し、綺麗な海、楽しい海、ふれあえる海をモットーに、地元漁業者、マリンレジャー共にマナー向上し、観光でも賑わう里海づくりを目指します。 1. 年数回の英虞湾清掃活動 2. その他、英虞湾に関する保守活動 3. マリンレジャー、地元漁業者との共存に必要な活動	英虞湾愛好会			

